

戸建住宅に
お住まいの方
必見!

戸建住宅の

今なら
補助金*
あります

*先進的窓リノベ
事業など

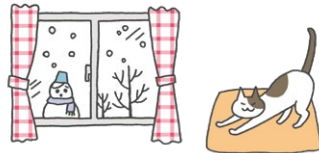
窓断熱リフォームの メリット!

光熱費削減以外にこんなメリットが!!

窓断熱リフォームすることで

**省エネ性能・
快適度がアップ!**

家族の**健康対策**に



ヒートショックや熱中症対策に!
ペットや子供にも優しい環境!

結露対策もできる

結露が激減するので、カビ・ダニの発生
を防ぐ効果も!部屋を綺麗に保てます。



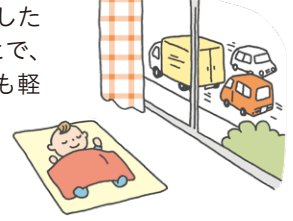
快適な室温を保つ

夏・冬ともに窓
際でも快適にす
ごせるので、カー
テンいらずで明
るいお部屋!



防音性の向上

防音に配慮した
窓にすることで、
騒音の悩みも軽
減できます。



入居者に聞きました!

内窓設置で冬の電気代3分の1削減!

北海道在住・Aさん

9年前、北海道にオール電化の住宅を建てましたが、冬の暖房コストがかさんだことから、内窓の設置を決意しました。ももとの窓も樹脂サッシと複層ガラスを備えた断熱性能の高い窓でしたが、内窓設置後は防音効果が得られるとともに、暖冷房の効きが良くなり、冬場には電気代が前年比3分の1削減となった月もあり、嬉しく思っています。



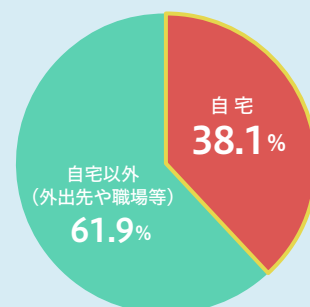
MINI COLUMN 慶應義塾大学名誉教授 伊香賀 俊治先生

熱中症の予防には断熱リフォームが有効

熱中症による救急搬送人数は、2010年頃には年間4万人から6万人程度でしたが、2018年に気象観測開始以来の猛暑が来たときに、一気に9万5,000人まで増えました。実は、熱中症の救急搬送人数の約4割が住宅内で発生しています。また、搬送者の

ほとんどが高齢者です。これを防ぐためにも、断熱が重要な役割を果たします。

住まいの断熱性能が良いと、夏の高温が室内側に入るのを抑えることにより、冷房が効きやすくなるので、断熱改修は熱中症の予防にも効果的なのです。



**熱中症救急搬送人数の
4割は自宅内**

令和7年報道発表資料:
100,510人
(高齢者:57.1%)
(住宅内:38.1%)

総務省 消防庁「令和7年(5月~9月)の
熱中症による救急搬送状況の概要」
(2025年10月)

光熱費を大幅に削減。 改修前の半分以下に！

戸建住宅にお住まいの岩田さん(左)
リフォーム事業者(工務店)の菊澤さん(右)

築 50年の一軒家で暮らしていましたが、寒い家だったこともあり、定年退職を機にフルリノベーションを決意しました。工務店に相談すると、住宅の高断熱化には窓まわりが特に重要とのことで、「先進的窓リノベ事業」を活用し、はつり工法による断熱改修を行いました。

以前は結露や隙間風に悩んでいましたが、改修後はそれらがなくなるとともに、屋外の音も気にならなくなりました。また、厳冬期でも暖房無しで過ごせるなど、断熱効果を実感しています。改修前には月8万円ほどだった光熱費が、改修後には最大でも3万5千円ほどになるなど、光熱費を大幅に削減できたことが何より嬉しいです。



外窓交換(はつり工法)を実施

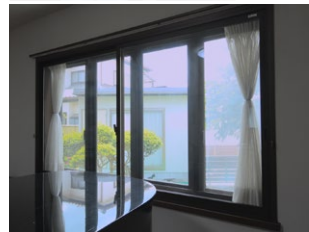
断熱改修でより快適に。 窓の見栄えも良くなりました！

戸建住宅にお住まいの門田さん(左)
リフォーム事業者の浦坂さん(右)

昨 年、「先進的窓リノベ事業」を活用し、2部
屋の窓の断熱リフォームを行いました。

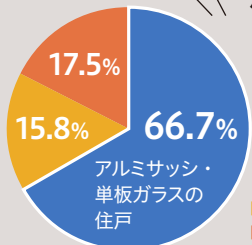
改修前は、日差しがピアノに直射することを避けるため、カーテンを閉めがちになり部屋が暗くなっていたほか、部屋の寒暖差にも悩まされていました。また、北側の部屋は、冬は寒く夏は暑いため、ほぼ物置状態になっていました。

改修後は部屋の寒暖差がなくなっただけでなく、西日が和らぎ、カーテンを閉める必要がなくなりました。北側の部屋も快適になり、今では寝室として利用しています。エアコンの使用量が激減し、冬場の光熱費は1年前より1万円以上下がり、とても驚いています。



内窓設置を実施

窓断熱リフォームは、光熱費の削減につながります！



日本の住宅の約7割は
窓断熱がない住戸!!

■一部の窓が二重サッシまたは複層ガラス
■全部の窓が二重サッシまたは複層ガラス

出典：R5住宅・土地統計を基に環境省作成

窓断熱リフォームを実施すると、
光熱費の削減が期待できます！

約2万円/年

窓断熱リフォームを行った
事例動画もぜひご覧ください。

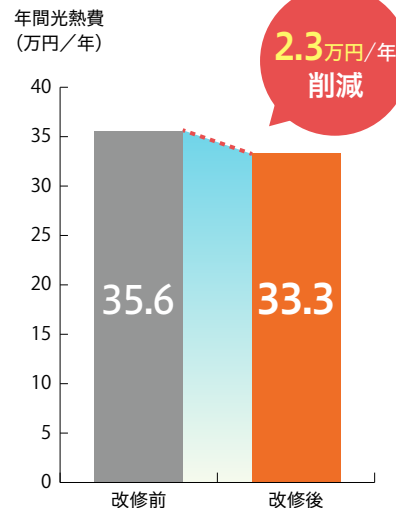


環境省 youtube チャンネル
「省エネ&健康な暮らしを
実現する窓リノベ」

【試算条件】

- ・延床面積120㎡の2階建木造住宅、地域区分6(主に関東~九州等)・昭和55年基準の戸建住宅において、グレードSの窓(熱貫流率Uw=1.5)への窓断熱リフォームを実施した際の光熱費削減効果について、WEBプログラム(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム)により試算したものです(電気代は東京電力及び東京ガスの2023年3月時点の料金表を用いて計算)
- ・上記は、延床面積や地域区分、電力会社の契約内容や料金の変更等により変動しますので、目安としてご活用ください。
- ・試算の詳細及び他の条件による試算結果などは、先進的窓リノベ2026情報ステーションからご確認ください。
(<https://madorinobe2026-info.jp/>)

S55基準*の戸建住宅における削減効果

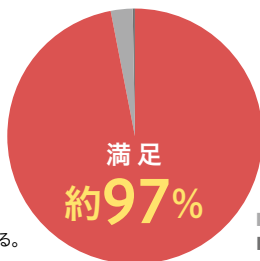


※昭和55年当時の省エネ基準で建築された住宅

手軽に実施可能&満足度も非常に高い
窓断熱リフォーム！

窓の断熱リフォームを実施した消費者の
約97%が、『満足*』と答えています。

※先進的窓リノベ2025事業を活用した消費者向けの調査(環境省実施)の結果による。



冬の窓辺も快適になった／西陽がやわらいだ／空調の効きが良くなった／防音効果が高まり静かになった／電気代が下がった・・・など、**快適性向上・省エネ効果**を実感する声が多く寄せられました。

環境省の窓断熱リフォームへの補助制度は
「先進的窓リノベ2026
事業事務局サイト」

<https://window-renovation2026.env.go.jp/>



※地方公共団体の補助制度に関しては、
一般社団法人
住宅リフォーム推進協議会の
検索ページを参考にしてください。

<https://www.j-reform.com/reform-support/>



※環境省では、窓の断熱改修を含め、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を進めています。詳しくはこちら。

